

## 競技注意事項

### 1. 規則について

本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に従って実施する。

### 2. 最終エントリーについて

- 最終エントリーは平成 30 年 6 月 10 日（日）の 14 時 30 分から 15 時 30 分の間、西京極総合運動公園陸上競技場の正面玄関前受付にて行う。
- 最終エントリーの際に別ナンバーカードを配付する。
- 最終エントリーの際に出場選手が 8 名に満たない大学は、出場を認めない。
- スタートリストは番組編成が終わり次第正面玄関入口にて掲示する。また受付においても随時配布する。

### 3. 招集について

- 第 1 次招集は、正面玄関前の競技者係にて 16 時 30 分から 16 時 50 分に行う。その際、腰ナンバーカードを配付するので受け取ること。また、ユニフォームと別ナンバーカードを持参すること。
- 第 2 次招集は、第 1 組:17 時 45 分、第 2 組:18 時 20 分 第 3 組:18 時 50 分、第 4 組:19 時 30 分 にそれぞれスタート地点付近にて行う。
- 招集には必ず選手本人がくること。

### 4. 欠場について

- 当日、欠場者あるいは途中棄権者が出たことにより参加人数が 8 名未満になった大学は、その時点で選考会に参加する権利を失う。欠場者以外の選手は 10000m 記録会の扱いとなる。

### 5. 競技者について

- 同一大学は、同一のユニフォームを着用すること。
- 別ナンバーカードは当日学連が配付するものを使用し、必ず胸部・背部に折り畳まずに明瞭に付けること。
- 腰ナンバーカードは両腰に明瞭に付け、競技終了後直ちにゴール地点で必ず返却すること。なお、途中棄権などで競技を中止した場合も必ず返却すること。
- ビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器をトラック、及びフィールド内に持ち込むことは禁止する。
- 競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。その際、大会本部前の通行は禁止する。

### 6. 競技用具について

- 競技場の施設及び用具は、大切に使用すること。器具の破損、紛失については、その選手及び補助員の所属する大学より必要代金を徴収する場合がある。

## 7. 実施方法

- 各組における大学別出走者数は学連側で決定する。ただし誰がどの組で走るかは各大学で自由に決めることができる。
- 計時は、写真判定(1/100秒)とする。但し、装置の故障などのトラブルが生じた場合、全ての組を手動計時(1/10秒)とする。
- 各大学出場10名中上位8名の合計記録(1/100秒)で順位を決定する。
- 各組、競技開始より35分が経過した時点で残り1周に達しなかった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。
- 上記の方法で同記録の場合、第79回関西学生対校駅伝競走大会における上位校を上位とする。
- 気象状況により給水を行うことがある。

## 8. 開始時刻

- 第1組(18時00分スタート)以降の組については、前の組の競技終了後随時スタートとする。

## 9. 各組の大学別参加人数について

- 各組の大学別参加人数は、以下の通りとする。参加大学の出場人数が10名に満たない場合は、大会本部で調整を行う。

	関学大	立命大	京産大	関西大	龍谷大	大経大	びわ学大	近畿大	京都大	大阪大	大体大	大院大
第1組 (30名)	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
第2組 (30名)	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
第3組 (30名)	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
第4組 (30名)	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2

## 10. 開閉会式について

- 開会式は17時30分より西京極総合運動公園陸上競技場にて行う。
- 閉会式は競技終了後(20時30分予定)に行い、その際結果発表をする。
- 開閉会式は部旗を先頭に10名並ぶこと。選手の参加が難しい場合は、代理の者を立てることで10名必ず参加すること。
- 開閉会式には部旗、支柱を持参すること。

## 11. 競技の中止について

- 気象警報の発令、天変地異等の不測の事態により、競技続行が困難になった場合は、審判長に意見を求め、関西学生陸上競技連盟内で検討をし、大会会長が最終判断を下す。
- 中止になった際の選考方法は、後日連絡する。

## 12. 学生補助員について

- 参加校は学生審判及び学生補助員派遣申し合わせに基づき、定められた数の学生審判及び学生補助員を必ず派遣しなければならない。
- 学生審判の服装は正装とし、靴はスニーカーまたはアップシューズで業務にあたること。受付にて配付する名札と腕章も着用すること。
- 学生補助員はクラブ指定のジャージを着用すること。
- **学生審判及び学生補助員の派遣要請があったにも関わらずそれを怠った大学は、以後の関西学連主催競技会への出場を認めない。**

## 13. 競技場使用の注意

- 応援は審判業務の支障のない範囲で、競技場内の6レーンより外側で行うこと。(ただし、各組スタート後1周は9レーン外側まで) なお、競技場内において正面玄関からゴール地点へ向かって約100mの区間、及び全天候走路上などコーンで区切られた区間での応援は禁止する。
- サイドスタンド及びバックスタンドは開放しない。
- 開門については、北東門およびメインスタンドで17時10分に行く。南西門においては17時30分以降、主催者が用意したIDカードを着用した各大学の選手とチームスタッフ(監督・コーチ・付添等の計5名)のみ通行可とする。
- 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール、パンプス等の靴を禁止し、運動靴及びスニーカーを着用する事。
- 全競技終了後、各大学は使用した場所の清掃を行うこと。
- 競技終了後に各大学で集合する際には、野球場周辺等の近隣住民の迷惑とならないような場所で必ず行うこと。なお、住宅が付近にあるため、競技場周辺での集合は禁止とする。万が一、競技場周辺で行い、苦情等が出た場合は当該大学に何らかの罰則を科す。
- 競技場内のゴミ箱の使用は一切禁止する。ペットボトルのみ受付にて回収するが、その他のゴミは各大学で持ち帰ること。
- 選手の競技中の発病・負傷については、主催者側は応急処置以外の責任を負わない。ただし、2018年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- 荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- 横断幕・のぼり等を競技場のバックスタンド及びサイドスタンドのフェンスにひも等で結びつけても良いが、フェンスに傷を付いたり破損させた場合は、当該大学より必要代金を徴収する場合がある。
- 公園内へのバイクの入場は禁止する。
- 不明な点があれば、大会本部まで問い合わせること。

関西学生陸上競技連盟